

E 読み書きの苦手な子供への学習支援のあり方 ～多層指導モデルMIMを活用して～

片山真喜代先生（彦根市立城南小学校）

- 1, 講演の内容についての感想、意見について
- ・実践を積み重ねて来られた中から、エッセンスを惜しげもなく教えていただきありがとうございました。
 - ・先生の貴重な特殊音節の指導を学ばせていただきとても有意義でした。帰って早速復習して自分なりに子どもたちの学習に役立てたいと思います。
 - ・多層指導モデルは、初めて聞く指導法なので今後も継続して研究していきたいと思います。
 - ・分かりやすく勉強になりました。
 - ・本日はありがとうございました。また、月曜日から指導をがんばっていこうと思いました。今日学んだことを生かして周りもまきこめていけたらなと思います。
 - ・自己紹介やクイズで音を使えると楽しく学習できると思った。手をたたいて「音」を教えることが動作化につながっていることがよくわかった。理論的で体系化された指導の仕方がわかりやすかったです。
 - ・支援学級に入級している低学年の児童に向けた学習方法を詳しく知ることができた。拗、促、長音等ができないとそのあとの文を書いたり、読解したりへと繋がっていかないとと思うので定着するまで丁寧に指導していきます。
 - ・MIMという言葉は初めて知りましたが、手をたたきながら特殊音節を指導していくことは学校でやっていました。今回はより深く指導方法を知ることができました。特殊音節が苦手な児童に、実践していきたいと思います。ありがとうございました。
 - ・MIMの考え方には、以前から興味を持っていましたが、今日お話を聞いて「これ、使ってみたい」と言う教材がたくさんありました。僕が受け持っている児童で、促音「つ」の習得がまだ十分でない児童がいます。マグネットやロパク等の方法を使って実践してみたいと思います。
 - ・今年度 初めて支援COになり色々勉強をさせてもらっているところです。中学生ですが、漢字が全く読めない子（LD）に対しどんな支援をすればいいのか、日々悩み、今回校長の紹介で参加しました。小学校の話で少し違うのかなと思いつつも、この子はすでに小学校でつまづいていたのかもと思いました。
 - ・MIMPMのパッケージを購入しました。とてもよかったです。支援級担任ですが、コーディネーターもしているので通常級の子どもたちにも活用できたらと思います。
 - ・指導している子どもにすぐにも実践したいです。言葉と音の数が一致する当たり前と考えることを分解したり、一つ一つ確認したりする大切さを実感しました。
 - ・今日学んだことを早速子どもたちの指導に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
 - ・促音・長音・拗音について次に1年生を指導する時があったら動作化、視覚化と共にやっ

てみます。今は、4年生の担任です。今でもまだまだ復習できてない子がいるのでやってみます。ありがとうございました。

- MIMを使った特殊音節のお指導の手順を教えてくださいました。また、MIMのパッケージを使った指導の後、デジタル版を活用することで担任も長く MIM を使った指導をすることができるようになりました。来年度は、デジタル版を使用した授業にチャレンジしてみたいと思いました。
- MIMについてどのように1年生に指導をしていけば良いか、各教科書の特徴も教えてもらいながらお話いただきありがとうございました。特に促音の指導に MIM はとてもわかりやすいと実感できたのですが、拗音、長音の指導のポイントも教えてくださいましたこと、大変参考になりました。教材の活用方法もわかりやすかったです。